

## 廃棄物減量計画書(様式第6号の2)の記入について

- 本年度の廃棄物減量計画は、本年4月1日から翌年3月31日までの計画を廃棄物減量計画書にてご提出ください。
- 処理量は、トン単位で小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までご記入ください。  
(0.1t=50kg 以上 150kg 未満)
- 複合商業施設は、テナント等が独立している分も含めて、一の建築物から発生する全ての量をご記入ください。
- 廃棄物減量計画書を数棟の合算で作成している場合は、建築物の名称と延べ面積の内訳および建物の配置図を添付してください。
- 記入欄が狭くて書ききれない場合は、別紙に記入して、添付してください。
- 廃棄物減量計画書記入例に‘注’が表示されている箇所は、以下を参考にご記入ください。

### <表面>

注① 「事業の主な内容」欄は、該当項目を丸で囲んでください。(複数選択可)

注② 「延べ面積」の欄は、建築物の床面積の合計をご記入ください。

注③ 「建物の主な用途」欄は、該当項目を丸で囲んでください。(複数選択可)

注④ 「就業人員」の欄は、事業所内で就業している人数をご記入ください。以下の事業所の場合は、それぞれの数をご記入ください。

1)学校は、就業人員に生徒数を足した人数

病院は、就業人員に平均的な入院患者数を足した人数

2)介護または福祉施設は、就業人員と平均的な入居者数を足した人数

注⑤ 「来客数」の欄は、1日の平均的な来客者数をご記入ください。

注⑥ 「廃棄物管理組織」「廃棄物の分別基準」「廃棄物の減量やリサイクルに関する社内研修」欄は、該当項目を丸で囲んでください。

<裏面>

注⑦ 「収集業者名」の欄は、廃棄物と資源それぞれの収集業者名をご記入ください。両方が同じ収集業者の場合は、両方に同じ収集業者名をご記入ください。

注⑧ 「その他の紙類」は、紙コップ、菓子箱の包装紙等の紙類をご記入ください。

注⑨ 「食品循環資源」は、食品リサイクル法の規定により、食品循環資源として再生利用している一般廃棄物をご記入ください。

注⑩ 「その他可燃物」の欄は、注⑨以外の厨芥類、その他雑芥類をご記入ください。

注⑪ 「空きびん」及び「空き缶」の欄は、他者が設置した自動販売機から発生し、設置した業者が回収するもの以外の空きびん、空き缶をご記入ください。

注⑫ 「その他」欄は、上の記入欄に無いもので、事業所内で分別しているもの、または、事業所内で特別に分別、資源化しているものをご記入ください。

注⑬ 「減量・再生への取組み」欄は、発生抑制や再生利用について、事業所で取り組んでいることや、取り組もうとしていること、それらに対する今後の課題をご記入ください。